

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**  
第18号

著者	滋賀医科大学
発行年	2012-04-06
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10422/9110">http://hdl.handle.net/10422/9110</a>

## Catch Up 滋賀医大

2012.04.06 第18号



## 滋賀医科大学スチューデントドクター認定式を実施

H24.03.14

学生代表へ認定証書が  
手渡されました

認定式の様子

3月14日(水)、来年度から新たに開始するスチューデントドクター制度の導入に伴い、医学科新第5年生95名を「滋賀医科大学スチューデントドクター」として認定しました。

認定式では、馬場学長から「医学生は患者さんから学び、信頼される医療人として成長する。その第一歩が臨床実習であり、自覚と心構えを再認識し、使命感・責任感、強い倫理観を持って臨んで欲しい。」と挨拶があり、学生代表へ認定証書の授与を行いました。

また、岡田学科長からは「臨床実習は教授する側にとっても新鮮であり、共に学ぶ場である。」と激励がありました。

それを受けて、学生代表から「自覚を持ち、責任と使命感を忘れることなく患者さんの立場に立って医療を学びます。」との決意表明があり、最後に柏木病院長から「附属病院は全診療科挙げて臨床実習を支援する。」とそれぞれ期待や激励が述べられました。

スチューデントドクターに認定された学生は、医師を目指す医学生としての自覚や心構え、医療に関わる人間として使命感や責任感を再認識させるとともに、患者さんや地域社会に対しても、たとえ医学生であっても「スチューデントドクター」であれば、一定レベルの知識と技量を獲得しているとの理解を図ることで、学生の医行為を大学(病院)が保証するものです。

## 外来診療科最後の移転が終了

H24.02.04-05

リハビリテーションAエリア  
(リハビリテーション部)

放射線科受付付近

平成21年12月より順次改修を行っておりました病院外来・中央診療部門改修工事のうち、外来診療科に関する改修工事が全て終了し、最後となるリハビリテーション科および放射線科の移転を終えました。

工事期間中は、患者さまには大変ご迷惑をお掛けして、申し訳ありませんでした。

改修工事も残すところ、総合受付・中央診療施設部門を残すのみとなりました。もう暫くの間、ご理解・ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

## 院内図書室「かいつぶり」がリニューアルオープン

H24.03.21

附属病院再開発の一環として行われていました院内図書室の移転改修工事が終了し、3月21日(水)にリニューアルオープンいたしました。

新しくなった院内図書室には新たに4台の書架が追加で設置され、蔵書数、種類とともにさらに充実しました。また、部屋の中心には新たに大きなテーブルが設置され、患者さんが図書を読まれるスペースを確保しました。

当日は、オープンに先立ち、12時から関係者列席のもと、オープン記念セレモニーを行いました。

セレモニーでは、柏木病院長から挨拶があり、併せて日頃の運営に対し感

謝の言葉がありました。引き続き、柏木病院長、酒井副病院長、藤野看護部長、院内図書室ボランティアリーダーの三柳さんによるテープカットが行われ、オープンを祝いました。

今回のリニューアルオープンに合わせて、ボランティアの皆さんが院内図書室の愛称を考えられ、院内図書室「かいつぶり」と命名されました。湖に集まる「かいつぶり」のように、院内図書室が患者さんの憩いの場になればと思います。

※「かいつぶり」とは滋賀県の県の鳥で、琵琶湖を代表する水鳥です。



新しくなった院内図書室



セレモニーの様子

## 第1回ホームカミングデイを開催

H24.01.07-08



OBと学生の交流会

OBと歓談する  
馬場学長と柏木病院長

去る1月7日、8日の両日、滋賀医科大学同窓会「湖医会」との共催で第1回ホームカミングデイを開催しました。大学の発展してきた様子や大きく変化した姿を自分の目で確認してもらうために、卒業生に大学に戻ってきてほしいという主旨で企画し、同窓会の創設30周年記念事業とタイアップしたもので、延120名を超える参加がありました。

メインのイベントは3部構成で、まず「大学の現在(いま)を聞く」では、馬場忠雄学長から滋賀医科大学の現況について報告がありました。続いて、湖医会賞を受賞した、第5期生の前田士郎氏は「ゲノムワイドな糖尿病関連遺伝子研究、～オーダーメイド医療をめざして～」、第18期生の岡田明氏は「インド・ダラムサラにおけるチベット

難民に対する眼科医療協力NGO活動」と題しそれぞれ講演があり、講演に対する質問も多数飛び交いました。

最後に、医学科第1期生の有志による「滋賀医科大学の過去・現在・未来—30年をふりかえって—今後の滋賀医科大学に望むこと」と題した座談会があり、滋賀医科大学への評価や要望が活発に話され、大変意義深いものになりました。

「学生との交流会」では、卒業生と現役の学生や教員との和やかな語りがありました。一方、談話室では、1期生から最新までの卒業アルバムや広報誌の閲覧、学生の制作によるビデオ「大学周辺の街と店」の放映など、タイムスリップしたひとときを過ごしていただきました。



## 外国人留学生との交流会「国際交流の夕べ」を開催

H24.01.11

平成24年1月11日(水)、本学福利棟食堂において、外国人留学生等との交流会「国際交流の夕べ」を開催しました。交流会には、本学に在籍している外国人留学生、外国人研究者をはじめ、日頃よりご支援いただいている関係団体、ボランティアの方々、教職員など総勢90名余が集い、親睦を深める機会となりました。

今回は、留学生等からの発表として、SUMS プロジェクトでカナダ・オタワ大学から来学した研究者による自国紹介のプレゼンテーションと、ケニア、中国の留学生による歌唱披露がありました。すばらしい歌声とリズムは、会場を大いに盛り上げ、参加者の

一体感を醸し出してくれました。中央の料理テーブルには、日頃お世話いただいているの方々への感謝を込めて、エジプト、ベトナム、インドネシアの留学生等による母国の手料理も並びました。

また、留学生から提供された「留学生等のバス旅行」と「日本文化月例教室でのあでやかな着物姿」の写真も、会場の一角に掲示され、多くの参加者に見ていただくことができました。

最後には、参加者全員が学生管弦楽団の伴奏で、「富士山」と「琵琶湖周航の歌」を合唱し、和やかな雰囲気の中、お開きとなりました。



留学生等の自己紹介



交流会参加の方々

## 嘉田知事との懇談を行いました。

H24.01.16



嘉田知事と役員

懇談後の嘉田知事と  
学長、病院長

1月16日(月)午前10時30分から、滋賀県庁において嘉田県知事と馬場学長を始め本学理事及び谷学長補佐と懇談を行いました。

県との懇談は毎年行われており、今回は本学から「びわこ文化公園都市の持続的発展エンジンとなるライフイノベーション及びグリーンイノベーションの推進」について提案を行いました。

嘉田知事からは、夢のある提案をいただき、今後実りあるものとしていくため、関係部署と連絡を取り、推進していきたいとお話がありました。

## SUMS-なでしこネット キックオフ・シンポジウムを開催

H24.01.20

平成24年1月20日(金)に、「医学系分野の女性研究者、看護師になって分かったこと・伝えたいこと」というテーマでシンポジウムを開催しました。

基調講演では、札幌医科大学医学部教授で滋賀医科大学医学科第1期生の藤宮峯子先生、本学医学部附属病院看護部の看護学科1期生の白石知子看護師からロールモデルとしての講演があり、その後のシンポジウムで

は本学乳腺・一般外科特任講師で医学科第8期生の梅田朋子先生を座長に、活発な意見交換が行われました。



シンポジウム開会

## 大学を支える人材を育むための宿泊研修を実施

H24.01.27-28



グループディスカッションの様子



全体討議中の様子

1月27日(金)～28日(土)に「大学を支える人材を育むための宿泊研修」を長浜ロイヤルホテルにて開催しました。役員および教職員計78名の参加があり、講演・グループディスカッション・全体討議などを行いました。3回目となります本研修は、前回よりも参加対象をより拡大し、本学の課題について、若い世代も交えて考え、教職員一丸となって積極的に課題に挑戦する機会作りに努めることが出来ました。

初日には、谷川総務等担当理事より、「大学改革の方向性のあり方」と題した開講の挨拶が行われ、続いて元三菱スペースソフトウェア(株)代表取締役社長 三宅道昭氏より「法人や企業における組織活力向上のために」と

題し、自身の体験に基づいた組織運営のあり方や、その手法についてのご講演をいただきました。

2日目には、「国立大学の機能強化と滋賀医科大学が目指すもの」をテーマとしてグループディスカッションを行いました。その成果について全体討議を行い、地域貢献や診療・教育などのテーマを柱とした様々な機能強化に向けての発案がありました。また、討議後は三宅氏、馬場学長より講評がありました。

2日間を通して、大学の今後のあり方について考える有意義な機会となり、自由闊達な意見も飛び出すなど、熱気にあふれた研修となりました。

## 第2回ライフサイエンスセミナー開催

H23.01.30

滋賀バイオ産業推進機構が主催するライフサイエンスセミナーが、1月30日(月)に瀬田アーバンホテルで開催されました。

滋賀県は、「しが医工連携ものづくり産学官連携拠点」を中心に、「医療・健康領域」の研究開発プロジェクト創出やその事業化を積極的に進めています。

このセミナーは、ライフサイエンス分野への進出や事業化を目指す企業の方に、大学等のシーズを上手に取り入れながら産学官連携を促進していくことを目指して本学、立命館大学等の

研究シーズの中から「医療・健康」「バイオ」「食品」の各分野からみたライフサイエンスの取組みについて紹介するものです。

本学からは、服部 隆則副学長：挨拶、遠山 育夫教授(分子神経科学研究センター)：座長、等 誠司教授(生理学講座)：「気分障害の病態解明と新規治療法開発を目指した神経幹細胞研究」と題した講演を行いました。

出席者は約50名で、ライフサイエンス関係研究機関・企業等と意見・情報交換を行いました。



等教授 講演

## 第14回分子神経科学研究センター・国際シンポジウムを開催

H24.02.13

平成24年2月13日(月)に、「New insights into the treatment of neurological diseases」というテーマで国際シンポジウムを開催しました。

馬場忠雄学長による歓迎の挨拶の後、遠山育夫センター長が本シンポジウムの目的について紹介し、続いてカナダ・オタワ大学/カナダ国立医学研究所の Joseph S Tauskela 先生、本学の楊 宏寛先生、国立病院機構鳥

取医療センターの小西吉裕先生、アメリカ・Sun Health Research Institute の Thomas G Beach 先生から、神経細胞死の機構と治療法に関する最新の知見をご発表いただき、活発な討議を行いました。最後に服部隆則副学長がまとめの言葉を述べ、盛会のうちに終了しました。

たくさんの方のご参加、どうもありがとうございました。



会場の様子



## 第28回滋賀医科大学シンポジウムを開催

H24.02.16



会場の様子

平成24年2月16日(木)に、准講会の主催により「第28回滋賀医科大学シンポジウム」が開催されました。

馬場学長の開会挨拶の後、セッション1では宇津貴(腎臓内科)、藤井紀和(皮膚科)が、またセッション2では程原佳子(血液内科)、手塚則明(医療安全管理部)、がそれぞれ座長を

務め、計14名の演者が各分野における研究成果を発表しました。演者は学部学生から留学生まで多彩な顔ぶれで、滋賀医科大学で“今”何が進行しているのか概観することが出来る内容となりました。例年以上の延べ100名の参加者が集い、熱心に演者の講演に聞き入るとともに、活発な意見交換がおこなわれました。

## シンポジウム「それも“緩和ケア”なんだよ」を開催

H24.02.18

本学では、地域貢献事業として障害者等支援のためのシンポジウムを毎年開催し、保健・医療・福祉関係の現場で働く人や当事者・家族の皆様にも積極的にご参加いただいております。

この度、2月18日(土)大津市におの浜にある滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海)305会議室においてシンポジウム「それも“緩和ケア”なんだよ ～日常の中にある緩和ケア～」を開催いたしました。

今回のシンポジウムは、一般の多くの方々に日常の中にある緩和ケアを知って頂くために、本学家庭医療学講座 田村祐樹 准教授の司会進行の下、大津市民病院緩和ケア科 津田真氏・彦根市訪問看護ステーション 柴田恵子氏・家庭医療学講座 田村祐樹氏の3名のシンポジストによる医療・福祉それぞれの立場からの講演の後、参加者らとシンポジストの間で質疑応答や活発な討論が行われ、充実したシンポジウムとなりました。



各シンポジストによる自己紹介

## 「特許に関する講演会」を開催

H24.02.23



受講会場全景

知的財産に精通した人材育成、学内研究者への知的財産意識の啓発を目的に「特許に関する講演会」を平成24年2月23日(木)に開催しました。

今回、医科系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net)IP 広域大学知的財産アドバイザーとして、本学の知的財産等について助言、協力をいただいている橋野憲親氏(東京医科歯科大学客員教授)に以下の題目で講演をいただきました。

大学研究者の為の知的財産入門  
—今何故大学が特許なのか?—

特許における「新規性」「進歩性」「発明者」「研究ラポノート」等について、現実に即した分かり易い、詳細な説明が行われました。受講者からは、論文発表時の注意点、研究ラポノートの記載方法等について、具体的な熱心な質問が行われ、演者からの明快な回答で、特許に関する理解を深めることができました。

## ひな祭りコンサートを開催

H24.03.02

日に日に暖かくなり、桜の花の開花が待ち遠しい季節となってまいりました。

3月2日に、2年ぶりに大正琴琴城流琴昇会の皆さんによるひな祭りコンサートが行われました。100名以上の患者さん、ご家族の方々、病院スタッフの方々が美しい音色、懐かしい歌に耳を傾けておられました。最後の「琵琶湖周航の歌」では琴の音色に合わせて歌を口ずさむ患者さんもたくさんおられ、楽しいひとときを過ごすことができました。なかなか病院の外に出られない入院患者さんにとって、気分転

換の良い機会となれば幸いです。

当日はあいにくの雨模様でしたが、舞台後方にはひな壇も設置され、一足早く春の足音を感じられたように思います。

今後も日々の心あたたまる看護の提供とともに、病院の中においても四季を感じられるような季節ごとの楽しいイベントを企画していけるよう努力していきたいと思えます。

春と共に、皆様の上にも幸せが訪れますようお祈り申し上げます。



大正琴琴城流琴昇会の皆さん

## 男女共同参画推進のための講演・シンポジウムを開催

H24.03.04



基調講演：  
田中-貴邑 富久子 氏



会場の様子

平成24年3月4日(日)に、滋賀医科大学および滋賀県の主催により「男女共同参画推進のための講演・シンポジウム」が、ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センターで開催されました。これは、滋賀県からの委託による女性研究者等支援事業の一環として広く県民に声をかけた啓発事業であり、94名の参加がありました。

まず、横浜市立大学名誉教授 田中-貴邑 富久子先生による基調講演「男女共同参画社会の効用を性差医学的に検証する」では、日本人の三大死因、がん、心臓病、脳卒中は全て男性の方が女性よりも罹りやすいこと、男性の平均寿命が女性より7年も短いこと、これらの差は、生物学的に性差のある「古い脳」と呼ばれる部分ではなく、出生後の養育、教育、社会からの刺激によって創られる「新しい脳」に依

存するとの説明があり男女共同参画社会が形成されれば、その効用により性別役割意識がなくなり、男女の寿命が同じになるはずであるとの趣旨の講演がありました。

その後のパネルディスカッションでは、「男女共同参画社会形成の目的とは」をテーマに、聖泉大学教授 高橋啓子先生、立命館大学非常勤講師 伊田広行先生、滋賀医科大学附属病院女性診療科医員 竹林明枝先生、田中-貴邑 富久子先生、そして座長の滋賀県医師会「医師のワーク・ライフ・バランスを考える会」木築野百合先生が、それぞれの専門分野から現実の問題や課題について発表され、新しい視点での男女共同参画社会形成について意見交換をし、会場の参加者からは「大変良い勉強になった」との意見が多数ありました。

## 平成23年度滋賀医科大学リーダーズ研修を実施

H24.03.07



江口教授のAED講習

3月7日(水)13時より、「平成23年度滋賀医科大学リーダーズ研修」を実施しました。この研修は、学生のサークル活動を有意義に発展させること、リーダーとしての自覚と認識を高めること、各サークルの相互理解を深めることを目的としています。

研修は、体育会系・文化会系の各課外活動団体の代表者(キャプテン)37名とアドバイザーとしてワンダーフォーゲル部顧問の木村博教授(生化学・分子生物学講座)他計10名の教

員が参加し、実施されました。

当日は、服部副学長の開講挨拶にはじまり、本学第2期生の江口 豊教授(救急集中治療医学講座)による急性アルコール中毒や救急蘇生に関する講演や同じく本学卒業生の相見解剖学講座准教授及び向所病理学講座准教授 による講演がありました。

また、班別討議では自ら提案したテーマについて各班で現状や問題点について話し合うなど、充実した内容の半日間となりました。

## 平成23年度滋賀医科大学卒業式及び学位授与式

H24.03.09

平成23年度卒業式が、3月9日(金)に本学体育館で挙行政され、医学科学学生87名、看護学科学学生72名が卒業しました。

卒業式では、学位記の授与、学生表彰に続き、馬場学長から告辞があり、「初心を忘れることなく、志を高く持ち続け、その達成を目指し、“一隅を照らす”人として日々の努力を重ねてください。」と激励されました。最後に、卒業生代表の謝辞があり、卒業式を終了しました。



馬場学長から卒業生一人ひとりに学位記が手渡されました



学位記の授与が行われました

## 滋賀医科大学学外有識者会議を開催

H24.03.15

3月15日(木)、滋賀医科大学学外有識者会議を開催し、7名の委員にご出席いただきました。

会議では、馬場学長挨拶の後、議長として井村 裕夫委員(先端医療振興財団理事長)が選出されました。井村議長の進行のもと、学長から国立大学の機能強化、また本学の活動状況について、服部理事から教育・研究面、柏木理事から診療面、村山理事から財務の概要等、谷川理事から人事方策等の説明を行いました。

各委員から、グローバル人材の育成、一流の研究者の招へいや地域再

生の中での医療を果たす役割、専門医と総合医の役割と育成及び厳格化、女性医師の増加に伴う課題、震災地における医療制度のあり方、今後の地域医療のあり方など、様々なご意見・提言をいただき、活発な会議となりました。

最後に、谷川理事から、本学でも機能強化及び大学改革を求められており、滋賀医科大学として発展していくため、なお一層教職員一丸となり、中長期計画を推進していきますので、今後ともご指導及び助言をいただきたいとの挨拶がありました。



会議の様子



## 地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型) 平成23年度研究成果報告会及び医工連携ニーズ・シーズ セッション開催

公益財団法人滋賀県産業支援プラ  
ザと滋賀県の主催で、3月26日(月)  
大津プリンスホテルで

「しが医工連携ものづくりクラスター」  
ー地域イノベーション戦略支援プロ  
グラム(グローバル型)ー

平成23年度研究成果報告会及び医  
工連携ニーズ・シーズセッションが開  
催されました。

「しが医工連携ものづくりクラスター」  
ー地域イノベーション戦略支援プロ  
グラム(グローバル型)ーは、びわこ南部  
地域での「医工連携ものづくりクラ  
スター」の形成に向けて、地域の技術的強  
みである医療機器の高機能化・インテ  
リジェント化・小型軽量化技術を活か  
し、小規模診療所での高度医療、災  
害現場での即時かつ高度な診断・治  
療など、「いつでも・どこでも高度先端  
医療」を実現する次世代診断・治療機  
器技術の研究開発を実施し、これまで  
培ってきたネットワークを自立・強化さ  
せると共にグローバル化の進展を図

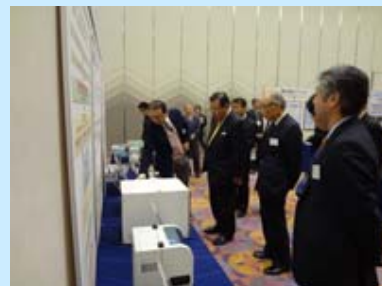
り、国際競争力の高いクラスター形成  
を目指すものです。

本報告会等は、研究開発成果および  
進捗状況を広く県内企業等に公表・普  
及するとともに「しが医工連携ものづく  
りネットワーク」の参画企業のシーズ・  
情報等の展示や、産学連携および産  
学連携によるマッチングの場を提供す  
ることにより、「医工連携ものづくりクラ  
スター」形成の促進を図ることを目的に  
開催されました。

奥村展三文部科学副大臣の来賓挨拶、  
嘉田由紀子滋賀県知事の主催者  
挨拶があり、多数の出席者で盛況に行  
われました。本学からは、外科学講座・  
塩見 尚礼講師(学内)が、第2グルー  
プを代表して、「体腔鏡手術ロボティッ  
ク技術が拓く高度先端医療の研究開  
発」について、23年度の研究成果報告  
を行い、多数の出席者が熱心に聴講し  
ました。



成果報告会会場

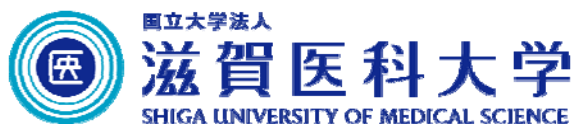


医工連携ニーズ・シーズ  
セッション会場

## 平成 24 年 4 月～6 月の行事予定

4月 4日	入学宣誓式
4月15日	第7回滋賀県脳卒中市民公開講座「脳卒中？どうしよう！」
4月28日	病院再開発完成記念コンサート
5月12・13日	浜松医科大学との学生交流会
5月26日	病院再開発記念式典
6月 9日	解剖体納骨慰霊法要

### 大学概要



所在地：  
〒520-2192  
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：  
1974年10月1日

活動内容：  
教育・研究・診療

役員：  
学長 馬場忠雄  
理事（教育等） 服部隆則  
理事（医療等） 柏木厚典  
理事（経営等） 高尾孝信  
理事（総務等） 谷川成美



### 担当

#### 企画調整室

TEL: 077-548-2012 FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:  
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:  
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

**報道された滋賀医科大学**（平成 24 年 1 月～平成 23 年 3 月）**教育関係**

2012/3/31	中日	教育尽力に感謝状 知事 曾我県立大理事長に
2012/3/30	週刊新潮	最先端「がん治療」
2012/3/27	中日	聖泉大新学長に筒井裕子氏選任
2012/3/24	京都	地域医療の担いて育成 滋賀医大生ら長浜で宿泊研修
2012/3/24	中日	地域医療の現状 医学生関心高く
2012/3/17	日経	医学生ドクター制導入
2012/3/15	中日	「スチューデントドクター」滋賀医大生 95 人認定
2012/3/8	日経	秋入学 改革の起爆剤に 東大学長、国大協で呼び掛け
2012/2/28	京都	国公立大入試前期日程終わる 京滋トラブルなし
2012/2/26	読売	県内 3 大に 2713 人挑む 国公立で 2 次試験
2012/2/26	中日	国公立大 2 次試験スタート 滋賀大では 1174 人が受験
2012/2/26	京都	入院患者 思いつづる 滋賀医科大生・犬飼さん 闘病記作成進める
2012/2/26	京都	国公立大 2 次前期 初日、京滋トラブルなし
2012/2/3	京都	国公立大入試 出願最終日 2 次倍率は 4.8 倍
2012/2/2	読売	国公立大学 2 次試験 出願状況
2012/2/2	朝日	国公立大学 2 次試験 出願状況
2012/2/2	産経	国公立大学 2 次試験 出願状況
2012/2/2	京都	国公立大 2 次
2012/2/2	中日	国公立大学 2 次試験
2012/2/1	京都	京滋 13 大学アンケート 秋入学 12 校が慎重
2012/1/31	産経	閑散期ホテルおの手この手 受験生さんいらっしゃい
2012/1/28	産経	国公立大学 2 次試験 出願状況
2012/1/28	朝日	国公立大学 2 次試験出願状況
2012/1/28	京都	国公立大 2 次
2012/1/26	中日	大学秋入学アンケート 空白の半年間 受け皿は
2012/1/26	毎日	国立大 4 割超 「検討」秋入学 関関立も前向き
2012/1/23	産経	本紙 アンケートに回答した国立大
2012/1/23	京都	放課後の学校 守山開設 生活保護世帯の中学生に大学生が支援
2012/1/22	読売	センター再試験 県内 4 人が受験
2012/1/22	中日	センター試験 再試験でもミス
2012/1/22	中日	県内から 4 人 配布ミス救済でセンター再試験
2012/1/21	京都	春目指し いざ本番 京都文教大池坊短大 私大入試スタート
2012/1/19	中日	センター試験混乱 「やり方不十分だった」
2012/1/15	読売	センター試験 県内 6 会場で 5989 人受験
2012/1/15	産経	県内でもセンター試験 5 大学 6 会場で受験生 5989 人挑む
2012/1/12	滋賀報知	滋賀医大生が附属病院で設置 県内病院初の闘病記文庫

**研究関係**

2012/3/20	中日	糖尿病 抑制タンパク質発見 滋賀医大など共同研究
2012/2/17	京都	バイオ企業に強い味方
2012/1/1	滋賀報知	わさびの刺激臭で目パッチリ 聴覚障害者向けの火災報知器



## 病院関係

2012/3/22	日経	不整脈にカテーテル治療
2012/3/6	朝日	遺体検案 足りぬ医師 開業医ら、年1500件担当
2012/3/5	毎日	山本病院の業過致死 弁護側証言一一致判
2012/3/4	読売	病院の実力 「アレルギーの病気」 増える「総合診療科」
2012/3/3	中日	1万5000人医療者導く
2012/3/1	産経	山本病院公判に弁護側証人出廷 奈良地裁
2012/2/5	読売	病院の実力 「小児救急」
2012/1/31	読売	「中学生にも院内学級を」
2012/1/31	京都	中学生対象の養護学校分室 滋賀医大病院に開設を
2012/1/31	中日	院内に「分教室」開設を 滋賀医科大学付属病院小児科の会
2012/1/25	京都	滋賀医大 医師がわいせつ行為
2012/1/25	読売	滋賀医大 医師がわいせつ容疑
2012/1/25	スポニチ	「好意持っていた」滋賀医大病院の医師 強制わいせつで逮捕
2012/1/25	毎日	強制わいせつで滋賀医大医師逮捕
2012/1/25	産経	強制わいせつ容疑で滋賀医大非常勤講師を逮捕
2012/1/25	朝日	女性に強制わいせつ容疑 滋賀医大の内科医を逮捕
2012/1/25	中日	滋賀医大医師を逮捕 大津署 職員にわいせつ容疑
2012/1/25	中日	滋賀医大医師を逮捕 大津署 職員にわいせつ容疑
2012/1/25	中日	強制わいせつ容疑の医師 以前からセクハラ
2012/1/17	京都	新病棟建設 支援は困難 野洲病院に市が回答 新病院検討委設置へ
2012/1/16	河北新報社	重度意識障害、各地で調査 患者数・介護状況、実態把握へ
2012/1/11	読売	肺がん患者に第4の希望 免疫療法 実用化へ
2012/1/8	読売	病院の実力「泌尿器科がん」

## 社会連携

2012/3/17	京都	滋賀県脳卒中市民公開講座
2012/3/11	読売	脳卒中最新治療 医師が来月講演
2012/3/11	中日	早期発見へ検査を 大津 患者ら肝臓病教室
2012/3/11	京都	復興支援のこれからは？ 大津で20日 県内避難者がNPO代表議論
2012/3/9	日経	菜の花サミット 福島で来月開催 滋賀のNPOなど
2012/3/6	中日	男女共同参画を医師や教授討論
2012/3/3	京都	男女共同参画推進へ講演やパネル討論
2012/2/28	読売	第11回市民公開講座「女性の気になる病気ー子宮がんとうち子宮内膜症についてー」
2012/2/25	読売	男女共同参画推進 来月大津で講演会 滋賀医大と県
2012/2/24	朝日	男女共同参画推進のための講演・シンポ
2012/2/22	日経	快眠への処方薬 正しい知識で日本元気に
2012/2/19	京都	公開講座「肝臓病教室」
2012/2/17	朝日	女性の気になる病気！子宮がんとうち子宮内膜症について
2012/2/10	朝日	滋賀県アレルギーフォーラム「せきとぜんそく良くなるために」
2012/2/4	中日	心地よい眠りポイント紹介 近江八幡でセミナー

2012/1/30	読売	ぜんそくテーマ市民講座
2012/1/30	京都	しが女性の会健康セミナー「いい眠りしてますか？いい睡眠でいきいきライフ」
2012/1/27	朝日	いい睡眠でいきいきライフ
2012/1/27	産経	いい眠りしてますか？いい睡眠でいきいきライフ
2012/1/21	読売	皮膚疾患の難病講演会
2012/1/20	朝日	医療公園・交流会 2月3日
2012/1/20	毎日	眠り講座&パイプオルガンの調べ
2012/1/18	京都	医療公園・交流会「表皮水疱症 膿泡性乾癬」

## その他

2012/3/31	中日	発芽大豆ケーキ 滋賀医科大と洋菓子店開発
2012/3/14	文藝春秋 H24.4 月号	同級生交歓
2012/2/22	中日	お元気ですか 1190 子宮頸がんの予防
2012/2/20	中日	今年の花粉「平均以下」
2012/2/16	京都	強制わいせつで滋賀医大医師起訴
2012/2/16	読売	滋賀医大病院医師強制わいせつで起訴
2012/2/16	朝日	滋賀医大の医師を強制わいせつ罪で起訴
2012/2/8	中日	私の先生 心鍛えた二つの誤解 イグ・ノーベル賞受賞 今井 真先生
2012/2/2	日経	産学連携担当理事を公募
2012/1/31	日経メディカル オンライン	40歳平均余命、糖尿病や高血圧のある集団では2~3歳も短い
2012/1/31	毎日	「過酷事故想定」知事に申し入れ
2012/1/30	朝日	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/30	読売	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/30	朝日	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/29	日経	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/29	朝日	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/29	読売	常勤理事（役員）求人募集
2012/1/27	京都	経営など担当理事1人公募 滋賀医大
2012/1/26	中日	常勤の理事募集 滋賀医大
2012/1/22	中日	安眠へコツ紹介
2012/1/17	朝日	弱者救う行政求めて 東 昌子
2012/1/15	中日	近江八幡のNPO法人 被災地の農地 菜の花で救え